

平成27年2月26日(木) 第3・4校時

児童数 11名

指導者 矢野間明子

場所 なかよしルーム

- 1 題材名 だんだんだんボール  
 A表現(1)ア、イ、ウ  
 B鑑賞(1)ア、イ

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、事前のアンケートの結果10人が図工が好きであり、1人がどちらかと言えば好きである。好きな理由としては、「アイディアが浮かぶから」が9人、「自由にできるから」「思いついたことができるから」が2人である。児童は3年生になり、「長ーい紙、つくって」の造形遊びを通して、紙や広告の紙で細長い紙を切ったり、長くつないだりして、思いついた活動を楽しむ学習をしてきている。最初は、一人で自分だけの長い紙をつくり、つなげてみるという活動だった。そのうち、紙の長さや量が増えていくと、教室の椅子や机などその場にあるものを生かして、貼り付けたり、広げたり、やり直したりする活動が始まり、友達と声を掛け合い、協力しながら生き生きと活動している姿が見られた。その一方で、長い紙がなかなかできなかつたり、つなぎ方や張り方にこだわりが強く、作品が広がらなかつたり、自分の思いを活動に生かし切れない児童や友達の作品を見て、同じものを作ったりするなど、イメージが思いつかない児童もいる。



(2) 題材について

本題材は、段ボール箱や身近な場所から感じたり考えたりする造形的な活動を通して、工夫して表現する楽しさを味わうことをねらいとしている。いろいろな形や大きさの段ボール箱に体全体で関わり、積み重ねたり、並べたり、イメージを広げたりしながら、つくっていく。また、互いに活動を見たり話し合ったりしながら、いろいろな表し方のよさや面白さを見つたり感じたりできる題材である。

なお、3年生では、段ボール箱そのものに親しみ、箱のよさを生かしたり、広げて板材として活用したりするが、4年生になると段ボールをいろいろな形に切ることを楽しみ、できた形をつないだり、組み立てたりする活動につなげていく。

(3) 本題材を指導するに当たって

指導に当たっては、材料である段ボール箱の質感と量感を感じ取り、並べる、つなぐ、積み重ねるといった活動を十分に楽しめるようにする。組み立てた段ボール箱にたくさん出合わせ、抱えたり、持ち上げたり、積み上げたりしながら、体全体で、大きさや高さ、バランスを感じることができるようにする。また、展開の流れの中で、活動の場を段階的に拡張していけば、児童の意欲を高めるとともに、表し方のイメージをひろげられると考える。さらに、個の活動で段ボールと十分に関わりながら、友達の様子を見たり、話し合ったりするなど協力し合う活

動を通して、自信をもって自分の思いを試したり、表したりできるようにしていきたい。出来映えや完成度にこだわるのではなく、うまくできなくても失敗ではないことを伝え、児童が心から満足できるような材料との出会いや使い方、場の設定、言葉がけを工夫していく。

鑑賞に関しては、つくり出した形や表し方のおもしろさや違いをを体感し、みなで共有したことを話し合いながら、充実感を味わわせたい。

### 3 研究主題との関わり

研究主題 「感性を働かせ、自ら学び、伝え合う子の育成」

副 題 図画工作における児童の思考力・判断力・表現力を育む指導方法の工夫

仮説1 「導入」の工夫や「展開」において豊富な材料・技法を体験させることにより児童は、感性を働かせ、自ら学ぶことができるであろう。

- 手立て
- ①教科書を効果的に活用して、課題をわかりやすくおさえられるように工夫し、興味・関心を高め、児童が活動の見通しを持てるようにする。
  - ②導入時は題材の最初の時間は15分以内、その他は5分以内とし、製作の時間を十分に確保する。
  - ③「展開」において「段ボールを切る」活動を実施し、用具の安全な使い方と段ボールの多様な使い方を知る。
  - ④たくさんの段ボール箱や紙の芯の用意、用具の提示を工夫し、いろいろな表現を試せるようにする。

仮説2 「まとめ」及び作品提示の工夫や「展開」において個に応じた支援を行うことにより、児童は感性を働かせ伝え合う力を高めることができるであろう。

- 手立て
- ①活動の過程で鑑賞を行うことで、試して見つけた工夫を学び合う機会を増やす。
  - ②意図的な言葉かけをすることで、児童の思いを生かす支援をする。
  - ③協力して時間内に片付けをさせる。
  - ④作品掲示の工夫をする。

※「4つの実践と3減運動」との関わり

- ・授業中のあいさつ、返事の励行
- ・鑑賞での友達との認め合い

### 4 目標及び評価規準

#### (1) 目標

試したり見つけたりしながら、自分らしい造形的な表現の追求と発見をする。

#### (2) 本題材における〔共通事項〕

段ボール箱を組み合わせたり、場所のよさを生かしたりしながら、形や色その組み合わせなどの感じをとらえ、これをもとに自分の活動のイメージをもつ。

#### (3) 本題材における評価規準〔◆「努力を要する」と判断される状況（C）の児童への支援〕

※アンダーラインは〔共通事項〕に関連した内容を示す

造形への関心・意欲・態度	発想や想像の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
段ボールを積み重ねたり、 <u>並べたり、切ったり、組み合わせたり、つなげたりするなどの活動を楽しもうと</u>	段ボールを積み上げたり、 <u>並べたり、切ったり、組み合わせたり、つないだりするなどの</u>	<u>材料や用具の特徴を生かして、段ボールを積み重ねたり、並べたり、切ったり、組み合わせ</u>	材料や場所のよさを感じ取ったり、自分や友だちの活動を見合い、 <u>話し合ったり、表し方</u>

している。	活動をしながら、新しい形を思いついたり、その形を考えたりしている。	たり、つないだりするなどの方法を工夫している。	の共通点や相違点、工夫などを捉えている。
◆積み重ねたり、並べたりすることを試していくような励ましの言葉をかけたり、教師が実際にやったりする。	◆イメージが浮ぶようなヒントになる言葉がけをしたり、対話しながら、思いを引き出したりする。	◆積み重ねたり、切ったり、組み合わせたりするなどのいろいろな表し方を一緒に行う。	◆自分の活動を振り返るよう声をかけたり自分や友だちの表し方のおもしろさや感じの違いに、目を向けさせる。

## 5 指導計画・評価計画（3時間扱い）

時間	学習活動	関	発	創	鑑	評価方法
1 ・ 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           提案1： なかよくなるろう！ だんだん、だんだん、だんボール         </div> <p>○教科書の作品例を見る。 ○段ボールを切る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           提案2： みんなで遊ぼう！ だんだん、だんだん、だんボール         </div> <p>○段ボール箱と出会う。 ○思いついたことを いろいろ試す。 ○抱えたり、積み重ねたり、並べたり、中に入ったりするなど、体全体で段ボール箱とのかかわりを楽しむ。 ○用具を使って、段ボールを切ったり、貼り付いたり、ぶら下げたり、思いを広げて表し方を深める。</p>	○				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">関</span> 行動観察・発言表情         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発</span> 行動観察・表現  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">創</span> 行動観察・発言表現         </div>
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           提案3： 世界にここだけ！ 星宮だんボールランドを楽しもう！         </div> <p>○自分や友達の見方よさを発見したり、話し合ったりする。</p>				○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">鑑</span> 行動観察・発言発表 ふりかえりカード         </div>

## 6 本時の学習（本時 1・2／3時）

### (1) 目標

- ・段ボールを積み重ねたり、並べたり、切ったり、組み合わせたり、つなげたりするなどの活動を楽しもうとしている。 【関】
- ・段ボールを積む、並べる、切る、組み合わせたり、つなげたりするなどの活動しながら、新しい形を思いついたり、その形から考えたりしている。 【発】
- ・材料や用具の特徴を生かして、段ボールを積み重ねたり、切ったり、組み合わせたり、つなげたりするなどの方法を工夫している。 【創】

(2) 準備

- 教師 デジタル教科書、段ボール箱、紙でできているロール芯、段ボールカッター、リサイクルはさみ、カラー粘着テープ（紙、布製）、カラーペン
- 児童 段ボール箱

(3) 展開

時間	学習活動 ※ <b>教</b> マークは教科書を 活用する場面	学習内容	○指導上の留意展（配慮・手立て） ◎評価 [共] 共通事項に係る内容 十分満足できる状況 ◆努力を要する児童への手立て
導入 10 分	1 単元を知る。 【仮説1 手立て②】  2 段ボールについて話し 合う。  3 参考作品を鑑賞する。 【仮説1 手立て①】 【仮説2 手立て④】 <b>教</b>  4 見通しをもつ。	○段ボールの質感・特徴  ○イメージのもち方  ○計画的な学習活動	○指導上の留意展（配慮・手立て） ◎評価 [共] 共通事項に係る内容 十分満足できる状況 ◆努力を要する児童への手立て  ○単元を黒板に掲示する。  ○段ボール箱を提示し、今までの経験 や知っていることなどを話せるよう にする。  ○デジタル教科書を活用し、作品のよ さやおもしろさ、工夫などに触れさ せ、本題材への興味・関心を高める。 ○児童を1カ所に集めて、作品例を提 示し、活動のイメージをもてるよう にする。  ○本時の流れを黒板に掲示する。
展開 70 分	5 プレ題材を体験する。 <b>段ボールを切る</b> 【仮説1 手立て③】	○段ボールカッター、リサ イクルはさみの安全な使 用法	○段ボールカッター（2種類）とリサ イクルはさみ（1種類）を用意し、 自分にあった用具を見つけたり、切 る形に応じてが選べるようにする。 ○段ボールカッター、リサイクルはさ みの使い方の安全指導を徹底する。 ○段ボールを切る活動では、遊びの要 素を取り入れながら、用具の使い方 を身につけるようにする。 ○技能の習得や切った物の出来映えに こだわらず、段ボールを思い通りの 形に切る楽しさを味わえるような声 がけをする。 ○プレ題材の活動までは、段ボール箱 を隠すために仕切りをした場を設定 する。

提案2： みんなで遊ぼう！だんだん、だんだん、だんボール

6 自分と段ボール箱との  
かかわりを楽しみ、思  
いついたことを試しな  
がら、つくったり、つ  
くり変えたりする。

- ・ 段ボール箱と出会い、  
積み上げたり、並べた  
り、切ったり、組み合  
わせたりする。
- ・ 一人の活動だけでなく  
友だちを意識したり、  
一緒につくったりす  
る。
- ・ 場のよさや今までの経  
験を生かし、用具を使  
ったり、思いを広げて  
表す。

【仮説 1 手立て④】

【仮説 2 手立て②】

○段ボールの使い方の工夫

- ・ 積む
- ・ 並べる
- ・ 切る
- ・ 組み合わせる
- ・ つなぐ
- ・ 切り開いて変形する。
- ・ 箱を解体して、板材  
にする。
- ・ 波形面を使う。
- ・ 切り込みを入れる。
- ・ 形を切り抜く。
- ・ 表面にカッターで筋  
を引き、変形する。

○仕切りの中に、移動させ、段ボール  
箱に出会い、活動を始められよう  
にする。

○仕切りの中には、段ボール箱を積み  
重ねたり、並べたりしておき、活動  
のイメージをもつことができるよう  
するとともに、意欲が高まるよう  
にする。

○教師が仕切りを外す。

○段ボール箱を持ち上げたり、抱え  
たり、中に入ったりするなど、材料に  
親しめるよう声をかける。

○段ボールカッター、リサイクルはさ  
み、粘着テープ、カラーペンは、児  
童の様子を見計らって提示し、必要  
に応じて活用できるようにする。

○場と場とのかかわり方に危険がない  
か十分に注意し、けがのないよう  
にする。

○用具の使い方は、個別にも指導する。

○用具の使い方を児童がいつでも確認  
できるように掲示物で示す。

○楽しい気分になるよう音楽を流し、  
場の雰囲気や緊張をほぐし  
たり、イメージが浮かんだりできる  
ようにする。

◎段ボールを積む、並べる、切る、組  
み合わせたり、つないだりするなど  
の活動を楽しんでいる。【関】[共]


◇体全体を働かせながら、高く積  
み上げたり、たくさん並べたり  
いろいろな形に切ったりしなが  
ら、進んで 段ボール箱とかかわ  
っている。

◆段ボール箱を抱えてみたり、眺  
めてみたりするなど、材料とか  
かわり、どんなことができるか、  
一緒に考えたり、話したりしな  
がら、やってみたいと思えるよ  
うに支援する。

◎段ボールを積む、並べる、切る、組  
み合わせたり、つないだりするなど  
の活動をしながら、新しい形を思い  
ついたり、その形を考えたりして  
いる。【発】[共]

			<p>◇自分や友だちが表した形や色からイメージを膨らませ、新しい表し方を思いつき、意欲的に試している。</p> <p>◆活動を見守りながら、どんなことをしてみたいか、対話しながら児童の思いやイメージを引き出し、活動への手がかりにできるようにする。</p> <p>◎材料や用具の特徴を生かして、段ボールを積み重ねたり、組み合わせたり、つないだりするなどの方法を工夫している。【創】〔共〕</p> <p>◇段ボール箱の扱いに慣れ、いろいろな使い方を組み合わせ、意欲的に形に表している。</p> <p>◆友だちの段ボール箱の使い方や新しい表し方を見たり、そのよさを話し合ったりしながら、自分の思いを確認し、表せる方法を提示する。</p>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>7 本時のまとめと次時の活動を知る。</p> <p>8 片付けをする。</p>		<p>○次時は、自分や友達の作品を見合い、共通点や相違点、工夫などを話し合うことを伝える。</p> <p>○協力して、時間内に片付けることができるようにする。その際、音楽を活用して、楽しく、てきぱきと活動できるようにする。</p>

7 板書計画



だんだんだんボール

なかよくなろう！ だんだん、だんだん、だんボール

2 / 2 6	1	なかよくなろう！
	2	みんなで遊ぼう！
	3	星宮だんボールランドを楽しもう！

段ボールを切るコツ

○切るときは、すこしずつ、ゆっくりと

○とがっているところは、くりぬくときに

○大きい物を切るときは、友だちと助け合って

こんなことに気をつけよう

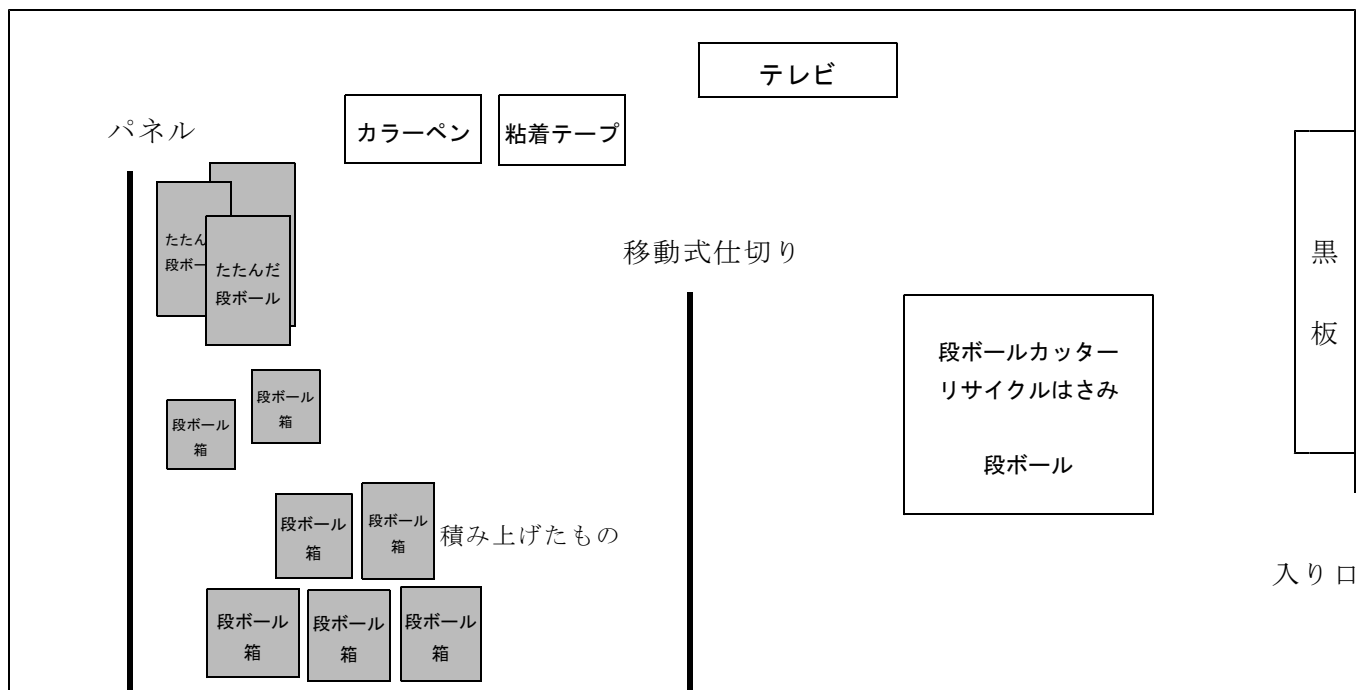
○持ち歩かない。

○持ち歩くときは、キャップをするか、刃を下にする。

○使い終わったら、元にもどす。

○回りに気を付けて、振り回したりしない。

8 場の設定（なかよしルーム）



導入・展開（プレ題材）の活動の場

展開の活動の場

場の設定の工夫

- ① 導入・展開のプレ題材の活動が終わったら、移動式仕切りをしまって、広い空間にする。
- ② 粘着テープ、カラーペン活動の様子を見計らって、提示する。





